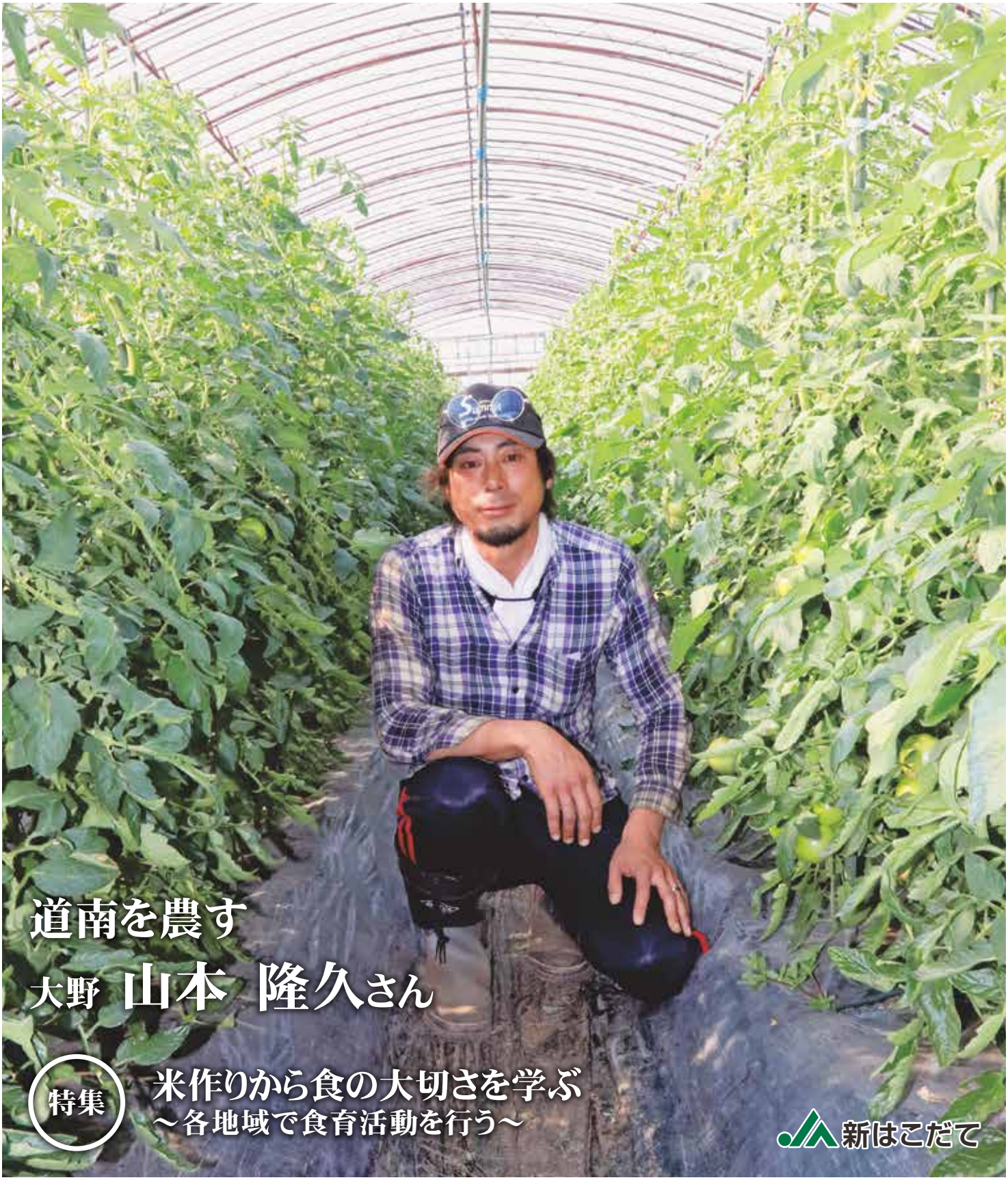
ＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる 新函館

7
July
2018
No.191



道南を農す
大野 山本 隆久さん

特集 米作りから食の大切さを学ぶ
～各地域で食育活動を行う～

JA新はこだて

道南をたがや農す

「休みの日には家族4人でよく買い物に出かけます」と隆久さん。

北斗市　東前

山本（やまもと）　隆久（たかひさ）さん

水稲	960 a
トマト	58 a
ホウレンソウ	54 a
白菜	12 a
レタス	8 a

「一つ一つの作業が好き」
丹精込めて作物を育てる農業者

課題解決に向け取り組む

農業の一番の魅力は「自身が一生懸命作ったものが無事に収穫できたときに充実感や満足感を大いに感じられること」と話すのは、北斗市の東前で農業を営む山本隆久さん。隆久さんは高校卒業後、帯広の農業大学校に進学し20歳で就農した。就農後の数年は両親から農業を教わりながら徐々に作業を覚えたとのこと。

現在は白菜やレタスの収穫が終わり、6月20日ころからトマトの収穫がスタート。9月にはホウレン草の播種作業等が始まる。日々の農作業について、5月～10月はパートを3人雇っているが、そのほかの時期は基本的に隆久さんと父の隆治（りゅうじ）さんと母の宮子（みやこ）さん、妻の久美子（くみこ）さんの4人で行っている。

作付けしている中で特に「難しい」と感じる品目を聞くと「ホウレン草」と不安な表情を見せる。雨が続くとハウス周り等が水浸しになる事があり、その影響でホウレン草の葉が黄色くなり出荷ができなくなるためだ。「排水の整備など毎年、試行錯誤し対策に努めているが今後も別の対応策を考えなければいけない」と話す。

えすぽわーる
NO.191／2018年7月号

目　次
CONTENTS

2　道南を農す
大野　山本　隆久さん

4　特集
米作りから食の大切さを学ぶ
～各地域で食育活動を行う～

6　頼れるアグリウーマン
八雲　水野　美奈さん

7　となりの農家さん
若松　桝田　晴希さん
七飯　山川　俊郎さん

8　トピックス
組合長トップセールス
花と緑のフェスティバル　他

10　あぐりレッスン

12　JAグループ通信

13　インフォメーション
組合員懇談会意見集約
夏の貯金キャンペーン　他

19　みんなのまるめ郎広場

20　今月の朝ご飯
エダマメとゴボウのオープンサンド
焼きエダマメのすり流し

今年から本格的に導入した「自吸タービンポンプ」を説明している様子。「自動で水撒きができるので、導入して良かった」と話す。

トマトのハウス内を整地している様子。「土をいじる作業も好きですよ」と笑顔を見せる。

夏場はトマトのハウス作業が中心。トマトは安定した品質と収量を確保できているとのこと。

新規ポンプ導入で作業効率化

隆久さんは昨年、普及センターからの提案でトマト栽培用のビニールハウスに『自吸タービンポンプ』を試験的に導入した。スイッチを入れたままタイマーをセットするだけで、自動的に水撒きが始まる。実際に使ってみたところ、作業の効率化に繋がったため、今年から本格的に導入したとのこと。「使ってみると想像以上に作業が楽になって導入して本当に良かったと思う。今後も無駄を無くし経費を抑制しつつ、作業効率化を図りたい」と話す。

JA新はこだて青年部北斗地区青年部の部長とほうれんそう部会の部会長を務めている隆久さん。「組織を運営していく上では『横のつながり』が何より大事で、その重要性を日々実感している」と真剣な眼差しで話す。家族のため、仲間のため、そして地域農業のために奮闘する隆久さんの日々は続く。

特集 米作りから食の大切さを学ぶ

～各地域で食育活動行う～

ＪＡ新はこだて管内では田植え時期を迎え、各地域でお米を通じた様々な食育授業を行い、子ども達に「食の大切さ」や「農業に関する理解」を深めました。その活動の内容について、ご紹介します。

ななつぼし直播きキッズ体験

親子参加型の食育企画を実施

5月20日、北斗市近郊から親子7組の20人が北斗市内の時田孝喜さんの水田で実施した「ななつぼし直播きキッズ体験」に参加しました。省力化や食味向上につながる新しい米作りの形を消費者にアピールすることを目的に、スーパー魚長と米卸の私市兄弟商店と共同で企画した初の食育企画。

時田さんから直播栽培の長所や短所、作業の要領などの説明を受けた後、親子らは裸足で田んぼに入り、直播きに挑戦しました。目印の節目に沿い、10粒ほどの種もみを等間隔に置く作業でしたが、参加者はぬかるみに足を取られて悪戦苦闘し、中には尻もちをつく子どもの姿も見えました。

息子と参加した七飯町の父親は「普段できない体験を子供にさせたかった」と話していました。

▲ぬかるみに悪戦苦闘する親子ら

七重小学校の総合学習

児童らが「食」を学び・体験する

5月24日、米穀課が七重小学校で出前授業を行い、同校の3年生が出席しました。食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に着けてもらうため、同課の三浦治課長がスライドを用いて、七飯町の米の作付面積や農家さんの一年間などを説明。また、クイズ形式で稲作の歴史や品種の移り変わり、米に関する雑学知識などを紹介しました。教室内はクイズに正解した児童らの歓声に包まれていました。

5月28日には、七飯町内鶴野の小田切清志さんの水田で田植えを行い、同町内の学校給食に使われている「きたくりん」の苗を植えました。児童らは素足になって田んぼに入り、泥の感触に大はしゃぎしながら汗を流し、農家の大変さや米のありがたみを味わっていました。

▲協力しながら田植えをする児童ら

茂辺地小学校の田植え体験

1～6年生みんなで楽しく田植え体験

▲手際良く苗を植えている様子

茂辺地小学校1年生から6年生の児童10人は、5月23日に北斗市の宗山幸夫さんの水田で田植え体験学習を行いました。地域の基幹産業である農業を体験することで食料を作る大変さと喜びを肌で感じてもらおうと毎年行っており、今年で20回目。

宗山さんが苗の植え方を説明した後、児童たちは裸足になって田んぼに入りました。横一列になって「ふっくりんこ」の苗を1本ずつ泥土の中に差し込み、約30分で0.5アール分を植え終わりました。

6年生の時兼咲翔君（11）は「転びそうになって大変だったけど上手に植えることができた。収穫祭が楽しみ」と話しました。同校では今後、かかし作りをするほか、9月に収穫作業を体験し、12月には収穫祭を予定しています。

大妻高校田植え体験

農家の苦労を体験し食材を大事にする

▲協力して田植え作業を行う生徒ら

函館大妻高等学校の食物健康科1年生の28人は5月28日、北斗市の白戸昭司さんの水田で田植え体験を行いました。生徒達に農家・農業の苦労を追体験し、食材を大切に扱う気持ちを育てることを目的に行っており、今年で12回目。

生徒たちは米穀課の森川功輔係長から田植えの方法を教わった後、裸足になって水田に入り、楽しそうに田植えをしていました。

田植えを体験した生徒は「初めて田んぼに入ったので最初は足に伝わる土の感触にすごく驚いた。田植え作業は徐々に慣れて最後の方は上手にできたと思う」と笑顔で話しました。

今後、食物健康科の生徒らは秋に稲刈りを行い、その収穫したお米を使って創作料理を作り発表会を行う予定となっています。

お米で健康 炭水化物の中でも質の良いご飯

管理栄養士・雑穀料理家●柴田真希

夏になると食べる機会が多くなる麺類。冷たいそうめんやそば、うどんなどの冷やし麺やピリ辛の麺類など、食欲が減退しても食べやすいのでついつい選んでしまう人も多いのではないでしょうか。

さて、麺類をはじめとする「主食」は炭水化物という栄養素の主な供給源です。炭水化物は、穀類（米、パン、麺類）や芋類、砂糖などに多く含まれます。エネルギー源となり体を温めたり、体組織の構成成分となるなど重要な栄養素の一つです。

ただし、炭水化物と一言でいっても組成は異なります。例えば、同じ炭水化物だからといって、砂糖と小麦粉がたっぷり使われたスイーツを食べても体はぽかぽかと温まりません。

炭水化物は1個の糖から成る「単糖類」と、ブドウ糖と果糖が結合した「二糖類」、単糖が3～9個結合した「少糖類」、そして単糖が多数結合した「多糖類」に分類されます。「単糖類」や「二糖類」は砂糖や果物に含まれ、「少糖類」はオリゴ糖などに含まれます。穀類や芋類に多く含まれるのが「多糖類」で、単糖が多数結合しているため消化のスピードも緩やかになります。

同じ「多糖類」でも加工の度合いによって消化のスピードは異なります。小麦（粒）を粉状にした小麦粉を加工すると麺類やパンになります。ご飯に比べるとかむ回数が少なくても食べられるので時間がないときには良いかもしれませんが、ご飯の方が満腹感が得られやすく、消化のスピードもゆっくりなので、腹持ちが良いという特徴もあります。

食欲のないときは、さっぱりとした梅干しと一緒に食べたり、カレーなどスパイスを効かせたりすると食欲が湧いてきます。夏こそスタミナをつけるためにご飯をしっかり食べていきたいですね。

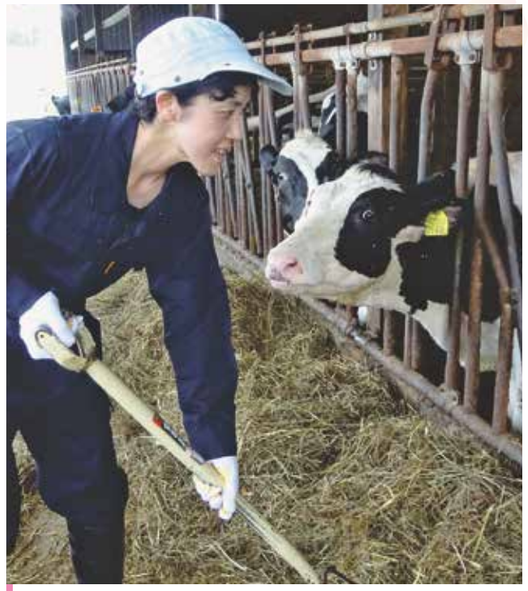
柴田真希（しばたまき）　株式会社エミッシュ代表取締役。Love Table Labo.代表。管理栄養士、雑穀料理家、フードスペシャリスト、1級惣菜管理士、健康食育シニアマスター、漢方養生指導士（漢方スタイリスト）。著書に『女子栄養大学の雑穀レシピ』（PHP出版）『おなかやせ定食』（主婦の友社）などがある。

頼れる♥アグリウーマン♥

女性が経営を支えると言っても、その支え方は農作業の手伝いだけではなく、家事や育児など様々あります。そんな農家経営を支えている女性にインタビューしました。

「努力が結果に結びつく、それが農業の魅力！」

八雲町
水野（みずの）　美奈（みな） さん



「牛の体調などを1頭1頭把握し、少しの変化にも気づけるよう心がけています」と話す。

●どのように経営をサポートしていますか？

毎日の食事作りや子どもたちの送迎など家事・育児面で家族を支えています。それ以外にも、日々の搾乳などの作業を行うほか、去年からトラクターに乗って行う作業にも挑戦しています。農作業での労働力としてもサポートできるように自分に出来ることを精いっぱい頑張っています。

●今後、学びたいことはありますか？

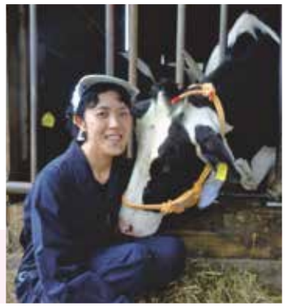
牛の繁殖の知識向上を目指して、今は本を読むなどして勉強中です。また、牧場見学や研修等の組織活動にも積極的に参加しています。そこで学び・吸収したことを実際の作業に活かしている時が楽しいです。これからも新しい事を学び、チャレンジしていきたいと思います。

●自分なりのリフレッシュ方法はありますか？

なかなか休みが取れない現状にありますが、そんな中でも子どもたちと公園に行ったり、年に一度、果物狩りに行くなどして気分転換しています。

女性部や酪青研の活動にも参加することで、部員同士の何気ない会話が情報交換になり、リフレッシュにもなっています！

〈取材　八雲支店　営農酪農課　中村愛恵〉



「趣味は、酪農です」と話す美奈さん。

～農家の現場へズームイン～ となりの農家さん

若松

未来に向けた、新たな挑戦を

桝田（ますた）　晴希（はるき）さん（23）　とうもろこし

せたな町大成地区の桝田晴希さんは、妻、両親と共に営農している。7月上旬頃から収穫する白い品種のとうもろこしは、1日におよそ100本を出荷する予定。「昨年のハウス管理の反省点を活かし、自家受粉も行い、今年はさらに良い出来栄えです」と話す。

他にも馬鈴薯やかぼちゃ、大豆、スナップえんどうなど様々な野菜を栽培しており、経営面積はとうもろこしを含め524aとなる。

今後に向けて「これからは人手不足が課題になってくる時代。機械化の推進や、ハウス栽培への切り替えなど、新たなことにチャレンジしていきたい」と展望を語った。

〈取材　若松支店　堤　元貴〉

▲とうもろこしのハウス内で、晴希さん（右）と妻の智華（ちか）さん（左）

七飯

自慢の肉で美味しい料理を作ります

山川（やまかわ）　俊郎（としろう）さん（69）　肉牛

七飯町大沼地区でファームレストランを経営をしている山川俊郎さんは、10年程前から息子の慶太さんに牧場経営を任せ、妻の洋子さんと共にそこで育てた肉牛を加工・調理し、自身が営んでいる店で料理を提供している。

俊郎さんは「珍しい熟成赤身肉を使用したローストビーフサンドや仲間の牧場で作っているチーズを使ったフレッシュチーズサンドなどを提供している。メニューは少ないが1つ1つの商品を丹精込めて作っています。」と語る。

今後について「常に新たな商品づくりに挑戦しています。今年は11月上旬まで店は営業しているので、ぜひ足を運んで下さい。」と話してくれた。

〈取材　七飯支店　花田　有希〉

▲自家製ローストビーフのスライス作業をしている山川さん

店名:山川牧場モータウンファクトリーローストビーフサンドショップ
電話:0138-67-4920　場所:七飯町大沼

えすぽわーる TOPICS トピックス

管内各地の旬な情報をお届けします。

4年連続の販売高300億円達成に向けて 組合長と生産販売部長がトップセールス

販売

大田花きで販売情勢について話し合う輪島組合長（右）

輪島桂組合長と南茂樹生産販売部長は6月3日～8日、道外市場に販売推進を行った。

4年連続の農畜産物の販売額300億円の達成に向け、更なる販売強化への取組みを要請した。

両名は首都圏や名古屋、関西、徳島などの主要市場12社を訪問。青果物の本格出荷を目前に控え、今年度の取扱目標額の必達と価格の安定に繋げるため、主要量販店・実需取引の更なる取組み強化を要請した。

また、6日には主要量販店・三徳本店を訪問し、新はこだて野菜の品質確認と米穀（ふっくりんこ）の販売協議を行った。

大阪中央青果で販売要請中の様子

愛情たっぷり、自慢の花を販売 はこだて花と緑のフェスティバル2018

七飯

楽しそうに接客している青年部員

JA新はこだて花卉生産出荷組合青年部は6月9日～10日、函館市で開かれた「はこだて花と緑のフェスティバル2018」に出店した。

当日はカーネーションやアルストロメリア、カスミソウなどを含む6種類を販売。

法被を着て部員らと一緒に販売を行った川村和樹部長は「若手生産者が一生懸命つくった花を大勢の人が嬉しそうに買ってくれて良かったです。今後もイベントを通じて花の業界をもっと盛り上げていきたいです」と語った。

厚沢部・森

初せりで5万円の値がついた「さぶりメロン」

初セリで5万円 道南ブランド「さぶりメロン」の出荷

厚沢部町・森町のブランドメロン「さぶりメロン」の初せりが6月14日、函館市青果物地方卸売市場で行われ、最上級の1箱（2玉入り）に5万円の値がついた。

初せりには森町の中澤忠さんが出荷した赤肉の「ルビアレッド」6箱が並んだ。

せり落とした函館市内の卸売業者の丸上青果の豊嶋敦果実担当課長は「販売から11年、知名度は確実に向上している。引き続き道南発ブランドを応援していきたい」と話した。

大野

アンパンマンたちと楽しく学ぶ子供たち

楽しく交通ルールを学ぶ JA共済アンパンマン交通安全キャラバン

大野支店は6月16日、北斗市農業振興センターで「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開催し、親子連れ447名が訪れた。JA共済の地域貢献活動の一環。イベントではアンパンマンたちと一緒に、歌と踊りを交えて交通安全について学んだ。

子供たちは楽しみながら、信号の見方や横断歩道の渡り方などのルールを学んだ。握手会も行われ、アンパンマンたちと嬉しそうに握手を交わし、子供たちの笑顔が絶えないイベントとなった。

知内

真剣に話を聴いている参加者ら

知識習得と仲間づくりに向けて 知内町・木古内町の農業者が講座を受講

知内支店は6月19日、知内町で平成30年度の「南渡島地区農業担い手養成講座」を開いた。若手農業者やUターン就農した農業者の知識向上及び仲間づくりを目的に行っており、知内町・木古内町の農業者15名が参加した。講座は年に5～6回を予定しており、今回は第1回目の講座。

参加者は経営所得安定対策や産地交付金、地域振興費などの内容に熱心に耳を傾けていた。

出席した構成員は「交付金の話など、貴重な話を聞くことができて、とても勉強になりました」と話した。

若松

ホウレンソウの出荷基準などを確認する参加者

規格基準を統一し共有する 桧山北部広域ホウレン草部会目揃え会

桧山北部広域ホウレン草部会は6月4日、せたな町のJAきたひやま旧予冷庫で目ぞろえ会を開いた。JAや農業関連機関の職員、市場関係者ら26名が集まった。

市場関係者は今年の出来栄えについて「5月の低温で収量が不安定。品質にもバラつきがある。大きさは2L級が多いが、幅広く使ってもらえるLサイズの出荷増加が販売額の増加につながる」と強調した。ホウレン草は道内市場を中心に11月ごろまで出荷される見込み。

森

意見を交わす部員ら

農業経営・技術を学ぶ 森地区青年部と南桧山地区青年部が交流

JA新はこだて森地区と南桧山地区の両青年部は6月20日、森町で交流会を開いた。青年部員11名が参加し、濁川地区や霞台地区の圃場を視察。部員らは気になった点などを熱心に質疑応答した。

森地区青年部の小原三弘部長は「視察でお互いの地域の特色ある経営形態や栽培技術について驚く場面が多々あり、勉強になった。普段、交流の少ない他地区の部員と触れ合う絶好の機会となり、有意義な交流会だった」と話した。視察後は懇親会を開き、さらに交流を深めた。

あぐりレッスン

〈大豆：病害虫防除〉 マメシンクイガと紫斑病の防除は、開花時期を確認し、適期防除に努めましょう。

1　マメシンクイガの防除

（1）防除は、開花と莢の長さを確認し、２回実施すると効果が高くなります。

ア　１回目の散布は、「およそ半分の株に長さ２～３cmの莢が着いた」ことと「成虫」を確認してから６日後に実施します。

イ　２回目の茎葉散布は、１回目の１０日後に実施します。

開花始の確認
全体の５％が開花

↓ ７日後

莢伸長始の確認
半数の株に２～３cmの莢

成虫の確認

↓ 両方を確認してから６日後

１回目の薬剤散布

↓ １０日後

２回目の薬剤散布

マメシンクイガ成虫の飛来時期（北斗市）

年	項目	白川	開発	大工川
H26	初日	8月4日	―	―
	最盛期	8/16~8/20	―	―
H27	初日	8月5日	―	7月30日
	最盛期	8/16~8/20	―	8/11~8/15
H28	初日	―	7月29日	7月29日
	最盛期	―	8/11~8/15	8/16~8/20

ウ　北斗市でのマメシンクイガ飛来初日は、年次や地域で異なりますが、７月２９日～８月５日頃になります。

（2）薬剤防除は、１回目と２回目は系統の異なる残効性の長い薬剤で行います。

ア　１回目はピレスロイド系あるいはジアミド系の薬剤を選択し、２回目は１回目で使用しなかった系統の薬剤を選択します。

系統名	商品名	希釈倍率	使用時期	使用回数
ピレスロイド	バイスロイド乳剤	2,０００倍	収穫７日前まで	３回
	ゲットアウトWDG	3,０００倍	収穫７日前まで	３回
ジアミド	プレバソンフロアブル５	4,０００倍	収穫７日前まで	２回

2　紫斑病の防除

（1）防除は、開花を確認し、２回実施すると効果が高くなります。

ア　１回目の散布は、開花後１０日目に実施します。

イ　２回目の散布は、開花後３０日目（１回目の２０日後）に実施します。

（2）薬剤間で効果に差があります。効果の高い薬剤の茎葉散布を行います。

ア　同一系統薬剤の連用を避けることが重要です。

系統名	商品名	希釈倍率	使用時期	使用回数
N−フェニルカーバメート･MBC	プライア水和剤	1,０００倍	収穫１４日前まで	４回
QoI	アミスター20フロアブル	2,０００倍	収穫７日前まで	２回

マメシンクイガによる被害子実

紫斑病による被害子実

〈水稲〉

●前歴期間、冷害危険期の水管理

1　前歴期間（幼穂形成期から１０日間）

①１０ｃｍの深水で稲体を保護しましょう。

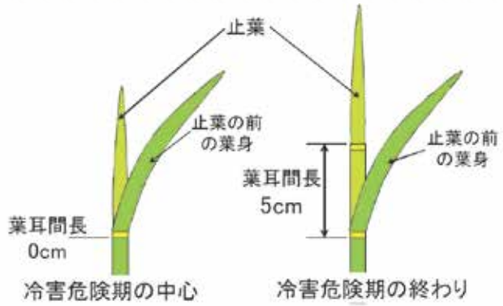
②茎数不足(株あたり２０本未満)の場合は、幼穂形成期から５日目頃までは「５ｃｍ程度の浅水」で分げつを促し、６日目から深水にしましょう。

2　冷害危険期（前歴期間後７～１０日間）

①幼穂の伸長に合わせて、１日１ｃｍを目安に徐々に深水にしましょう。

②最終的に１８～２０ｃｍの深水にしましょう。

③冷害危険期の終わりは葉耳間長(５ｃｍ以上)で判断しましょう。



●病害虫対策（いもち病、紋枯病）

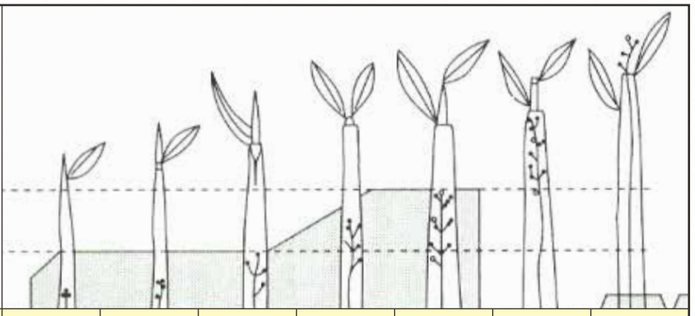
1　いもち病

①葉色が濃いほ場や、風通しが悪いほ場、過去に発生したほ場の株の下葉を中心に確認し、早期発見に努めましょう。

②ＢＬＡＳＴＡＭ（http://www.agri.hro.or.jp/boujosho/blastam/index.html）に掲載される感染好適日を確認し、適期防除に努めましょう。

2　紋枯病

出穂前の「モンカット」と出穂期の「バリダシン」の組合せが効果的です。



幼形期後の日数	0日	5日	10日	13日	16日	20日	25日
生育ステージ	幼穂形成期	幼穂伸長期				穂ばらみ期	出穂期
水管理	前歴期間			冷害危険期		中干しで根の活力向上	開花時は湛水
	10cmの深水とする			幼穂の伸長に合わせ18～20cmの深水とする			

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJA広報誌を中心に好評連載中の「続・今こそJA」を、ご紹介します。

今年は、協同組合の原点である「ロッチデール原則」を再確認するほか、JAグループが取り組む自己改革のご紹介を通じて、協同組合の歴史と経過を振り返る全12回の連載としております。

組合員に限らず、JA広報誌を購読する地域の皆さんにも、私たち協同組合の成り立ちや活動を知ってもらい、共感して頂きたいと考えております。

JA北海道信連

JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン春RUN！漫！」への協賛を行い、3年目となります。

大会ではゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴをつけたランナーを応援するとともに、特設ブースにちょリスも駆け付け、春のワクワクもらエールキャンペーンのPRや、抽選による日本ハム戦チケットプレゼント企画を行って大会を大いに盛り上げました。

ホクレン

ホクレンは3月14、15日に、新たな販路開拓に向けて食品バイヤーを対象にした「第12回JAグループ国産農畜産物商談会」（東京国際フォーラム）に出展しました。

「北海道こめ油」や「てんさい糖」、乳製品などを幅広く紹介したほか、ボトル形状やデザインをリニューアルしたホクレンの顆粒片栗粉「とろりんぱっ」を使ったから揚げや角煮の試食を提供し、北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力を伝えました。

JA共済連北海道

JA共済連では、今年もスタントマンによる交通事故の再現により危険性を疑似体験（スケアードストレイト技法）させる交通安全教室を、道内8つの高等学校で開催しました。

体験した生徒からは「危険を再認識した」「ルールを守り、気をつけていきたい」などの感想が寄せられました。このような活動で交通事故が減り、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたいと考えています。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

組合員懇談会 開催結果報告（要約版）

◆開催期間：平成30年4月3日（火）～4月5日（木）
◆開催状況：12地区・8会場で開催
◆出席状況：対象者数2,224人、出席者数183
出席率8.2%

※要約版でありますことを予めご了承願います。

◇…JAからの回答

【総務部関係】

1. 地区役員候補者の選出について、組合員の意見が反映されていないと思われる。

◇ 今後は選出過程の周知方法を含め、役員推薦会議等で検討し、出来るだけ広く組合員の意見が反映できるよう努めて参ります。

2. 女性参与がどのように決められているのか、どのような役割なのか教えてほしい。

◇ 青年部の代表3名と女性部の代表3名で構成された女性参与選任検討委員会で協議し、選出頂いております。役割については、参与から理事ということも視野に入れながら、今後、進めて参ります。

3. 女性参与の位置付けとは。

◇ 知内・若松地区から1名ずつ選任されています。今後、男女共同参画を目的とし理事会に出席して頂き、3年間女性目線で意見を頂きます。

改正農協法では、女性理事も謳われていますので、3年間参与として慣れて頂く事が重要と考えております。

4. 理事会において、女性参与として良い意見を述べても取り上げてもらえるのか。また、議事録は残るのか。

◇ 理事会の議決権はありませんが、発言は出来ますので、意見は取り上げられます。また、議事録にも残ります。

5. 女性理事は、特別枠で地域全体の女性部からの登用を要望する。

◇ 役員定数等検討委員会での協議が必要となります。女性理事の登用は特別枠の方向性で検討したいと思います。

6. 支店の再編に関する基本的な考え方を教えて頂きたい。

◇ 総体的に支店の収支が賄えるかどうかがポイントになってくると思います。今後、組合員の理解を得ながら検討をしていくことになります。

7. 利益準備金の積立基準である当期剰余金の20・1%は決まっているのか。また、積立額の上限はあるのか。

◇ 定款の中で20%以上と決まっております。また、積立額の上限は出資総額の2倍に相当する金額までと定款に定められておりますので、当組合の場合は約70億円まで積立てることとなります。

8. 退職者・新採用はそれぞれ何名か、また、何人位不足しているか。

◇ 正、準職員からパート、定年退職者を合わせると約30名です。新採用は14名であることから、退職者の再雇用をはじめ、人員の確保に努めます。

9. 若い職員が辞めている事実もあることから、職場として魅力に欠けているのではないか。

◇ 職場内でのコミュニケーションや適正な人員配置や職場内研修等も行いながら農協に魅力を感じ、定年まで勤めて頂ける職場環境づくりに努めて参ります。

【信用共済部関係】

1. 国の制度資金等、農業融資を受けるに当たり収入保険に加入している農家を優先すると農業新聞に掲載されていたが、どのような対応をするのか。

◇　国においても検討段階であり、その概要も掴めていない状況から、今後、詳細が決定した時点で適正に対応してまいります。

2. 定款の一部変更で、休眠預金等活用法について、説明して欲しい。また、休眠口座になる前の、預金者への連絡はどうなっているのか。

◇　現在、最終取引日から10年を経過した日から6ヵ月後の応答日の存する年度中に、休眠預金等の扱いとなり、雑益編入する処理を行っていましたが、新法施行に伴い預金保険機構に納付・口座管理の移管をし、その代替業務を金融機関が業務委託されることになりました。なお、対象となる預金等の通知は、最終異動日等から9年経過後に電子公告で行う予定です。

3. 建物共済に加入できない倉庫物件があるので、加入できるようにしてほしい。

◇　（要望）

【農業振興部関係】

1. 各支店には組合員組織があるが、小さい組織でも助成の対象になっているのか。もし助成しているのなら実態を精査して見直しを要望する。

◇　大小に関わらず助成をしています。設立当時は必要としていたが、現段階において必要なのかを各支店で活動実態を調査し見直しの検討を行います。

2. 賦課金について、現状の仕組みで特に言うことは無いが、他地域で変えて欲しいとの要望があるようなので変わる可能性はあるのか。

◇　酪農畜産の組合員から改定の要望があります。家畜頭数と草地面積に対し徴収していることで、中規模の酪農家であっても賦課金が上限に達する状態となっているので改定の要望が上がっております。

3. 賦課金見直し（案）提示で、使い方、不公平感の解消とあるが、具体的にどういう事か。

◇　合併後、組織助成の見直し・検証をしたことが無く、賦課金はH22とH28を比較すると1400万円程減少していますが、組織助成は50万円程の減少とバランスの悪い状況となっております。
　皆さんから頂いた大事な賦課金であり、地域農業の振興に重要な部分に厚く助成したいと考えています。

4. 賦課金について地区毎の平均値を教えて欲しい。不公平に感じており是正を要請する。

◇　賦課金全体で平均4万6千円。徴収方法（値上げ・値下げ）の議論ではなく、使われ方を論議願いたい。

5. 草地は生産物ではないので、賦課金計算に算入しないで欲しい。

◇　（要望）

6. 人口減少、高齢化により農業人口は減少している。担い手や新規就農者への対策はあるか。

◇　地域で練り上げられた第5次農業振興計画の積極的な実践を進め、関連機関と連携し担い手や新規就農者の確保に努めます。

7. 生産資材課の供給実績が下がっているが、商系とJAとの差があるからJAの利用度が下がったのではないのか。また、商系の方がサービスが良いのではないのか。

◇　組合では利用分量配当金など還元を行っております。取り纏めの量が確保されれば価格競争を行い有利になりますので、今後も取り纏めに協力願います。

8. 農業振興部の酪農畜産課ではなく、酪農畜産部にしてほしい。その中で若いうちから酪農畜産の基礎をきちんと教育をしてほしい。

◇　（要望）

9. 酪農ヘルパーも不足しているため、酪農家が安心して営農できるような体制整備をしてほしい。

◇　今、どこの地域でも労働力不足が課題となっており、募集をしても人が集まらない状況にあります。どうしても労働力を確保できない場合、機械化による省力化や地域内での共同等で労働力不足を補うことも地域で検討して頂きたいです。

10. 第5次地域振興計画の目標として掲げている牛1頭当りの生乳量が伸びているが今後の営農指導をどのようにしていくのか。

◇　酪農畜産関連各補助事業を活用し、生産する環境を改善しながら乳量を伸ばしていきます。

11. 組合員に有効な補助事業の事務処理や情報量の向上に取り組んでほしい。

◇　本店でもフォローしながら向上に取り組んでいきます。

12. 生乳の集荷体制について、今後の対応の協議について生産者も入れてほしい。

◇　今後は、酪農生産部会（組合員）とも相談しながら、今後協議を進めていきたい。

【生産販売部関係】

1. 密苗は今後、新函館農協で推進していくのか。

◇　試験段階であり、今後も範囲は広げていきますが、1、2年の試験結果を見ながら検討します。また、専用の機械が高額だという課題もあります。

2. 総代会資料の「保管」「施設」の項目が赤字となっているが、解消できるのか。施設整備により赤字を生んでいるのであれば、基幹支店ごとに収支状況を明らかにし、受益者に知らせることが必要と思う。

◇　年々改善傾向にあり、今後も収支改善に努めていきます。

3. ふっくりんこが「特A」から外れたが、昨年は低タンパク率が高く、食味の部分で出すサンプルを誤ったのではないか。

◇　刈遅れを外し、低タンパク率6.1～6.2％のもので、整粒も揃ったものをサンプルとして出したが、アミロースの部分で「A」となった事が考えられます。全道平均のアミロースで、ゆめぴりかが18・8％で低タンパク率7.2～7.3％に対し、ふっくりんこは21・8％と高い結果となっています。ふっくりんこは契約により全量、販売が終了していますし、価格にも影響はありません。今年産は特Aが取れるよう対応していきます。

4. 新函館農協としてプレミアムふっくりんこをどのように考えているのか。

◇　非常に重要な取り組みだと考えております。若松地区ではもちろん他の地域でも取り組んでもらえれば、ふっくりんこの名声が高まっていくのではないかと思います。

【(株) 新はこだて協同関係】

1. 旧Aコープ店舗の今後の方針はどのようになっているのか。解体か活用か。もし、処分であれば時期はいつ頃を予定しているのか。

◇　総代会終了後に処分解体の方向で進めております。

2. 整備の事業計画が708,630千円と、前年決算対比84・1％となっているが、下がった要因は何か。

◇　昨年度まで実施されていた農機具リース事業について、まだ本年度の予算措置がされていないことから計画には見込んでおりません。また、非常に組合員支持の高い事業でありますので、努力して参ります。

執念見せるも、反撃及ばず一回戦敗退

第40回東日本軟式野球大会（1部）全国大会 出場

当JA野球部は6月9日からの「第40回東日本軟式野球大会（1部）」に北海道南の代表として出場しました。一回戦で長野県代表の増田屋自工クラブと対戦し、4対2で惜しくも敗れました。部員らは今大会の経験を糧にし、全国の強豪に負けないチーム作りに励むことを誓った。

檜山農業改良普及センターからのお知らせ

檜山南部版ハウス立茎アスパラガス栽培のポイント（平成30年度改訂版）を発行しました。檜山地域農業技術支援会議で取り組んだ改善内容を盛り込み6年ぶりに内容を見直しました。基本技術を再度見直し、安定多収を目指しましょう。
資料はホームページに掲載しています。

http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/gijyutu/H30asupara.htm

～系統銘柄ハウスビニール災害見舞金制度について～

この制度は製造元の出荷から1年以内のクリンテートシリーズ・JAノービシリーズ（天井規格のみ）を対象に、自然災害により被害を受けた場合、または災害の緊急回避を目的とした折損時などに、購入金額の一部を見舞金として組合員の皆様にお支払いする制度です。

この制度に関するお問い合わせは、JA新はこだて各支店『生産資材窓口』までお願いします。

理事会開催報告

第6回理事会議案（定例）

●日時／平成30年6月29日（木）10時30分～
●場所／北斗市農業振興センター

報告事項

（1）第1四半期定期監査結果について
（2）第1四半期内部監査結果について
（3）組合員の異動について
（4）委員会の開催報告について
（5）平成30年産米の出荷契約状況について
（6）新野菜広域流通施設（仮称）稼働に向けた業務対応について
（7）平成30年度日本農業新聞普及推進について
（8）平成29年産収入減少影響緩和対策交付金（ナラシ）の交付額について
（9）第1四半期の資金運用状況について
（10）第1四半期のリスク管理方針に基づく総体的なリスク量管理について
（11）5月分有価証券の売却について
（12）内部管理態勢に係る指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」及び「財務モニタリング報告」について
（13）会計監査人の選任・選定に係る取り進めについて

議　案

第1号　第1四半期定期監査に対する回答について
第2号　理事に対する平成30営農年度組合員勘定供給限度額の変更について
第3号　金融機関への貸付について
第4号　信用供与2億円超となる貸付について
第5号　平成30年度農業基盤整備促進事業並びに農地耕作条件改善事業の取り進めについて
第6号　信用事業方法書（金融機関等の業務代理）の一部変更について
第7号　上期決算の実施について
第8号　コンプライアンス規程の一部変更について
第9号　平成30年度コンプライアンス・プログラムの設定について

組合員の皆さまへ 組合員資格確認のお願い

日ごろから当JA事業をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

さて、当JAの組合員として加入する際にご提出頂きました住所・氏名などの事項につきまして、その記載内容に変更があった場合は、書面での手続きが必要となります。

組合に加入後、以下のようなことはありませんでしたでしょうか？

- **転居した**
- **結婚して姓が変わった**
- **就農・離農した**
- **農業経営に著しい変化があった**
- **組合員である家族が亡くなった**

右記に該当する場合は組合員資格が変動する可能性がございます。お心当たりの方は、最寄りのJA支店までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

JA新はこだて　総務課

第24回道南農試公開デー

農業試験場ではなにをしているの、いつも食べているお米や野菜はどうやって大きくなるの？と思っている方、子供から大人までみんなでご来場ください。研究していることや使っている施設を紹介します。また、試験田畑の見学や試食コーナー、体験コーナーなどもあります。

●日　時：8月9日（木）、午後1時 ～ 午後4時
●場　所：道総研道南農業試験場（北斗市本町680番地）
●その他：家庭菜園などでお困りの方、栽培技術相談（水稲、畑作、野菜など）や病害虫診断をご利用ください（現物をご持参下さい）

（問合わせ）道総研道南農業試験場　TEL0138-77-8116

みんなのまるめ自慢広場

Q. 今月号のえすぽわーるの中から答えを探してください！

ブランドメロン「さぶりメロン」の初せりが6月14日に行われました。最上級の1箱（2玉入り）は○万円の値がつきました！
「○」に入る数字は？

※本誌に記載されている数字（1ケタ）でお答えください。
※ヒント：8ページをご覧ください。

プレゼント　クイズの正解者の中から抽選で3名様に、以下の2種類からお好きな商品を3袋お送りします。
希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン（1袋2食入り）

あっさぶの豆（1袋110g入り）

あて先　クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室　FAX:0138-77-5566
E-mailアドレス　shouta.horiba@ja-shinhakodate.com

⬇応募用紙はこちら（切り取ってハガキにそのまま貼ってね。）
応募締め切り　7月23日（月）（当日消印有効）
※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせて頂きます。

こたえ

ご希望のプレゼント　農協ラーメン・あっさぶの豆
※右記のいずれか1つに○を付けて下さい

〒　　－
住所
氏名　　年齢　　才　TEL　　－　　－
ペンネーム
組合区分　正組合員・准組合員・その他　※○を付けて下さい
コメント ※広報誌へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線

今月号の当選者　今月は9件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

前回の答え 30

クイズ当選者

八雲町　アドベンチャーさん
八雲町　さっちゃんさん
森町　5296さん

読者の声　たくさんのご応募、ありがとうございます。

八雲町　アドベンチャーさん
冬のドドーン貯キャンペーンでJAの特産品当たりました。JAバンク最高！

八雲町　さっちゃんさん
ハウスの中の仕事がつらい季節になります。健康管理の記事があってもいいですね。

森町　5296さん
仕事柄いつも楽しく拝見しています！初めて応募します。当たりますように、、、

乙部町　あっチャンさん
「えすぽわーる」くるの毎回楽しみに待ってまーす。

北斗市　おていちゃんさん
トマト赤くなりました。やっぱりうまい！

森町　こぶくろさん
6月号の表紙が森町の農家さんで嬉しくなりました。よろしくお願いします。

大分県　TOKIさん
今月の朝ご飯で紹介されていた手羽先のショウガ煮は意外とあっさり食べることができてとても良かったです。

八雲町　モーモーさん
雨が多くてようやく6月13日に一番牧草。今年はどんな年になる！熱くなーれ！

えがほかーど
第191号
平成30年7月10日発行
発　行／新函館農業協同組合
〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
電話／0138-77-5555　FAX／0138-77-5566
ホームページ／http://www.ja-shinhakodate.jp/
編　集／企画室　印　刷／有限会社　三和印刷

おいしく食べて　今日もスタート

今月の朝ご飯

茨城県笠間市にある「キッチン晴人（ハレンジ）」のオーナーシェフ・永井智一さんに、元気が湧いてくる朝ご飯を教えていただきます。

永井智一（ながい ともかず）

朝ご飯の献立

- エダマメとゴボウのオープンサンド　レシピ1
- 焼きエダマメのすり流し　レシピ2
- トマトジュース

レシピ1
エダマメとゴボウのオープンサンド

材料（1人分）

エダマメ	大さじ4
ゴボウ	1/2本
ソース	
マヨネーズ	大さじ2
粒マスタード	小さじ2
米酢	小さじ1/2
塩・こしょう	適量
食パン	1枚
バター	適量
生ハム	1枚
スモークサーモン	2枚
サラダ野菜、レモン	適量

作り方

（1）鍋に湯を沸かし、塩・酢（分量外）、3cmほどに切ったゴボウを入れゆでる。
（2）ゆで上げたゴボウが温かいうちに、塩（分量外）ゆでし皮をむいたエダマメと一緒にソースの材料と混ぜ合わせる（エダマメは最後に使う分を適量残しておく）。
（3）食パンを焼いて半分に切りバターを塗り、（2）とサラダ野菜・スモークサーモン・生ハムをトッピングし、最後に残したエダマメを散らしレモンを添えて出来上がり。

レシピ2
焼きエダマメのすり流し

材料（2人分）

エダマメ（さやごと蒸し焼きにして取り出したもの）	大さじ4
かつおだし	1と1/2カップ
塩・薄口しょうゆ	適量
EVオリーブ油	適量

作り方

（1）さや付きのエダマメを塩でもみ、アルミホイルで包み、トースターで15分蒸し焼きにし、さやから取り出す。
（2）（1）と、かつおだしをミキサーにかける。エダマメは最後に使う分を適量残しておく。
（3）（2）を塩・薄口しょうゆで味を調え、器に注ぐ。仕上げにEVオリーブ油を掛け、残したエダマメを落として出来上がり。

ポイント

すり流しの濃度は、だしでお好みに調整してください

編集後記

6月は今月号のトピックスでも紹介している花と緑のフェスティバルの取材や本誌同様、7月に発行の地域住民向けコミュニティ誌「しんはこ農k-now」で「花」をメインに誌面を作成したため、「花」について私自身が改めて考える月となりました。

「花」の取材後、私の職場のフロアにカーネーションとアルストロメリアを生けてみました。私自身初めて自分の意志で花を飾る機会になったのですが、日々、きれいに咲いていく花を見るのはとても気分が良く、花を見るたびにもらった時の記憶が蘇るため、贈り物にはぴったりだと肌で実感しました。私自身も実際に飾ってみるまでわからない部分が大きかったので、ぜひみなさんも花を贈って、もらった時には食卓や玄関などに飾ってみてください。日常が明るくなりますよ。

（翔）

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

JA新はこだて facebook　検索

まるめ郎アルバム

ふと、部屋から空を見上げると
長〜い飛行機雲を発見。
よく見るとその雲の中に飛行機が飛んでる!!

緊急時のご連絡先

※業務時間内（平日9時〜17時）にはご契約の支店にご連絡ください。

お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
（JA共済事故受付センター）

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
（JA共済サポートセンター）

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
（JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター）

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
（三菱UFJニコス㈱盗難紛失受付センター）

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。